

# Fresh Man

## 平成18年度新入会員紹介

平成18年度は7名の方に入会いただきましたので、ご紹介いたします。



花田昌彦 S41.1.16生  
山本工業(株)(出雲市小山町) 営業課長

縁あって、初めて建設業関係の仕事に従事することになりました。  
経験のない私ですが、法面を中心とした今の仕事に国を地域を作ると  
いう大きなやりがいを感じています。

昨年の災害を目の当たりにして、災害に強いそして環境を考えた地域づくりに貢献する  
よう勉強していくつもりです。

何分判らない事が多く、皆様方のご指導を頂けますようよろしくお願いします。



木村和人 S45.5.19生  
中国道路整備(株)(松江市長道町) 常務取締役

大学卒業後、Uターンし地元出雲で10年余り警備会社に勤務しまし  
た。その後『ご縁』があり今の会社に入ったのが平成16年11月のこ  
とです。最初は(今でも!?)分からないことばかりで、周りに大変迷惑をかけたと思  
います。

そして、またまた『ご縁』があり今年度から青年部会に入会させていただくことと  
なりました。久文部会長の言われた「本音で話し合える仲間作り」を目標に努力して  
いきたいと思っています。

皆様に多々ご迷惑をお掛けすることもあると思いますが、どうぞ宜しくお願い致し  
ます。



荒木克之 S46.1.9生  
昭和開発工業(株)(出雲市西郷町) 営業部主任

平成8年3月に入社、下水道部に所属し6年間現場を経験しました。

平成14年10月に営業部に変わり今年で5年目になります。建設業を  
取り巻く環境が厳しくなる中で現場から営業に変わったものですから、戸惑うことも  
多く今でもその連続です。

今後、同業者の事業への取組方、また他社との情報交換など青年部会で出来ればと  
思います。どうぞ宜しくお願い致します。



三島一男 S47.2.23生  
ミシマ産業(株)(出雲市天神町) 常務取締役

この度、新入会員として(社)鳥根県建設業協会出雲支部青年部会へ  
入会いたしました三島一男でございます。どうぞよろしくお願いいたします  
します。

本会の青年部はその目的として「建設業の経営者としての経営技術習得、並びに  
人格教養と相互の信頼を深めると共に、会員の融和を図り建設業界の発展に寄与する  
ことを目的として設立したもの」とあります。私、未熟者ではございますが、少しでも  
この目的達成の為に力になれるよう、若き48名の会員と共に、切磋琢磨していく  
所存でございますので、何卒よろしくお願いいたします。





川角 宣広 S50.5.12生  
(有)川角建設(出雲市大社町)

大学を卒業後、1年間出雲高等技術校の測量土木科で土木の基本を学び(有)川角建設に入社しました。普段は作業員兼管理という状況ですので、常に現場に付いている為、皆様に顔を合わせる機会がほとんどありませんでしたが、青年部会入会をきっかけに交流を広げて行きたいと思います、またいろいろな会社の情報を聞き、自社の仕事に活かせれば良いなと思っております。

宜しくお願いします。



森山 竜人 S50.9.7生  
(株)もりやま(出雲市大社町) 取締役

私は県内で土木施工管理の経験を積んだのち、平成15年より弊社にて勤務しております。現在は主に一日のほとんどを現場にて施工管理をしています。自分が子供のころは、父親に連れられてバックホウに乗せてもらうことが楽しみでしたが、今は自分の子供を乗せて喜ぶ顔を見るのが楽しみです、先の建設技術展での子供たちの喜んで遊んでいる姿はとて感慨深く年月の流れを感じたところです。

自分も早く皆さんに名前を覚えてもらい、この青年部会の活動に積極的に取り組んでいきたいと思いますのでよろしく申し上げます。



持田 充 S51.4.24生  
(株)板倉重機(出雲市江田町)

(株)板倉重機に入社して7年が経ちましたが、今年度から青年部会に入会することになりました。

入社当初から総務部に所属し、現在は主に各現場の売上・原価・利益管理、損害保険代理店の保険業務を担当しております。普段は1日のほとんどが事務所の中におりまして他社の方々とお会いする機会が少ないのが現状です。

この度の青年部会への入会をきっかけに多くの方々からいろいろと勉強させていただきたいと思っておりますので、失礼があるかと思いますが、今後とも宜しくお願いいたします。

## ちよっと一息 ～食いしんぼうQ社長の徒然日記～

### ビアロック ★★★★★



今日も何かと忙しい一日でありました。ふ～・・・。

「ただいま～」？「・・・」？ 応答がありません？・・・そうか今日はママさんバレーの日であります。(家内は今頃、平素のストレスを思いっきりボールにブツけていることであらう。くわばら、くわばら・・・)

主婦不在のLDKは、ガラ～ンとしてねずみ一匹の気配もありません。(ちよっと寂しいですね～。)誰も応えてはくれなかった「お帰りなさい」の言葉を自分自身につぶやきながら、ダイニングテーブルに鞆を下ろし、

おもむろに冷蔵庫へと向かいます。お目当てはもちろんビールであります。

キンキンに冷やされたそれをシュパッと開けるが早いか、ゴクゴクゴク・・・っかぁ～たまりませへん！と、やりたかったのですが、残念なことにビールが冷えておりません。あっちゃあ～・・・

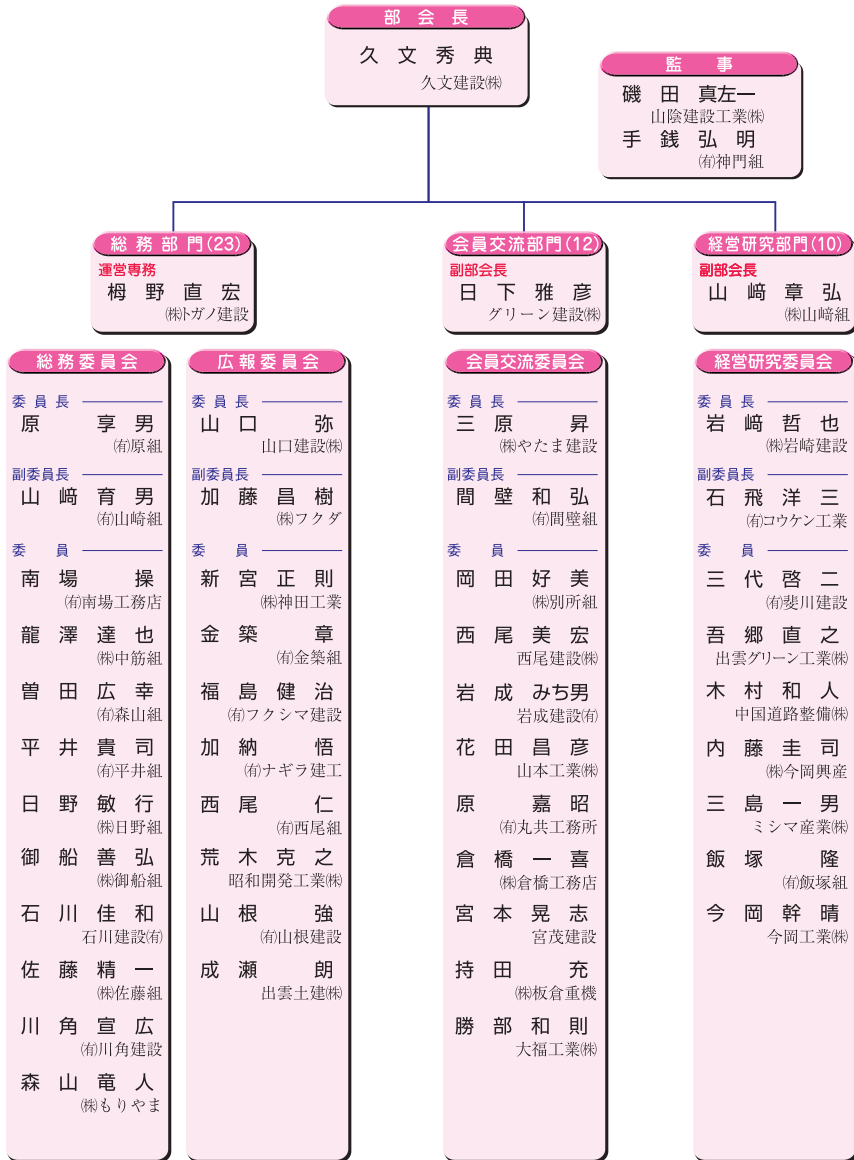
しかたね～なぁ～、それじゃあ、生ぬるいやつでも飲むかぁ～・・・!? と、いかないのが・・・ビールという飲み物ですよ。(ビールは誰がなんと言おうと、キンキンに冷やして飲むものであります。)

ということで・・・グラスのなかのたくさんの氷塊に、ビールを糸のように細くたらし続けた結果、クリーミーな泡立ちを冠した“ビアロック”が出来上がりました。

お味の方は、基本的には変わらないはずですが・・・まあ一度実験してみてください。驚くほど、すっきりとした爽やかなお味になっているはずですよ・・・。

今日は『伊東家の食卓』的のお話でありました。はい

平成18年度  
 (社)島根県建設業協会出雲支部青年部会  
 組 織 図



事務局より



山名 久美子

平成9年の設立当時から青年部会の担当をさせていただいておりましたが、平成19年1月末をもって退職し、新しく入られた原さんにバトンタッチすることになりました。

青年部会は、全会員参加型の事業がいくつかありますので、皆さんと親しくさせていただきましたし、また楽しい思い出もたくさんできました。

卒業される皆さんが必ず「一番の思い出」として書かれている『国道まるごとクリーンアップ作戦』。もともと出雲支部単独事業だったのが発展し、全県下一斉事業として今や青年部会の目玉事業となって定着しています。7月実施になってからは照りつける太陽とその照り返しからくるアスファルトの暑さ…作業を終えられた後の皆さんの表情を見るだけで、その大変さは想像に難くありません。私は直接ゴミを拾って歩くことはなかったのですが、やはりこれが一番『青年部会らしい』事業だと印象に残っております。

平成19年度には10周年を迎える出雲支部青年部会が、県下の中心となり益々発展されますよう、また会員の皆様の今後のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

皆さん、大変お世話になりました。ありがとうございました。

かずこ  
原 佳文子

2月13日より(社)島根県建設業協会出雲支部で勤務させていただくことになり、青年部会の担当を山名さんから引き継ぐこととなりました。初めての仕事内容に不安でいっぱいですが、一步一步確実に業務に取り組みたいと思っています。

私は学生時代、吹奏楽で活動し、その中で人と人との“和”を大切にすることを学びました。大勢の人数で一つの音楽を作り上げることがとても素晴らしい事だということを体で感じる事ができた事を今でも忘れません。仕事に対しても同じ事が言えると思います。ここの職場はチームワークが良くとても和やかな事務室だなど第一印象で思いました。その中の一員として勤務させていただけることをうれしく思い大変感謝しています。

お世話になる方に対していつも“ありがとう”という気持ちを忘れず日々頑張っ行ってきたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

## 編集後記

昨年7月の豪雨災害はこの地域に大きな被害をもたらした。  
凄まじい自然のパワーに圧倒され、人間の力の限界を痛切に感じた。

「地球温暖化」がますます加速しており、各地で異常気象が頻発しているとの事…。

この地域も、もう2月だというのに、まったく雪が積もらないし、降る気配すらない。気温も高く、暖房器具や衣料品の売れ行きもサッパリだそうだ。

しかし、何か妙だなとは思いつつも、我々建設業界から見れば、仕事が思った以上にはかどりと、延いては利益にも繋がる大変ありがたい話でもある。お隣の大山でもスキー場の悲鳴を尻目に、ゴルフ場は例年の2倍の利用客でホクホク顔らしい。

「地球温暖化もまんざらではないな」などと、つい不謹慎な思いが頭を過ぎる。

良いような、悪いような話ばかりで、なかなかまとまらないのだが、いずれにしろ建設業者もゴルフ場も、所詮はお天道様のご機嫌を伺いながらの商売。いつ逆の立場になるのか分からない、そんな宿命を抱えながら今後も経営をしていかなければならないことには変わりは無さそうだ。

「降る時は普通に降る。寒い時は普通に寒い。暑い時も普通に暑い。」  
そんなバランスがとれた気候がやはり一番望まれる処なのだろう。

この天気のおかげで出雲大社の初詣客は例年になく多かったそうだ。

「今年は天気も仕事も良い年でありますように…。」

ご多分に漏れず、神々の御前にて手を合わせてはみたものの、  
「無礼な！ バランス感覚が一番欠けているのは、お前さん達人間の方だろう!？」

そんな天の神様の声も同時に聞こえた気がした。

広報委員長 山口 弥